

とかちがわおとふけちくひきていじぎょう がいよう
十勝川音更地区引堤事業の概要

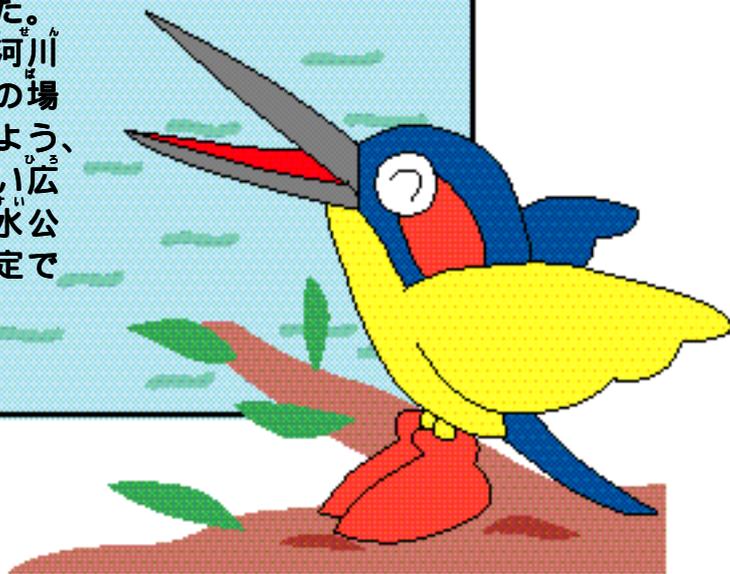


十勝川の十勝大橋周辺は、川の流
れが大きく曲がり、流せる水量も
予定の半分程度でした。そのため、
たびたび氾濫する危険がありました
た。

このことから、安全に予定の水量
が流せるように、川幅を370mか
ら500mへ広げ、音更側の堤防を最大130m後退さ
せ、流れを中央に寄せるとい
う工事をすることにし
ました。

昭和60年に引堤にかかわる地元説明をはじめ、昭
和63年10月14日から引堤事業に着工しました。
平成8年1月に十勝のシンボルとして十勝大橋が完
成、同年8月に新水路に通水、平成10年3月まで
に護岸工事が完了し、用地処理から13カ年におよ
ぶ引堤事業が完成しました。

この事業によってできた河川
敷は、多くの市民の憩いの場
として活用してもらえよう、
パークゴルフ場、ふれあい広
場、川狩り広場など、親水公
園として開放していく予定で
す。



1

～プロローグ～ どこが変わった？とかち川

パパの仕事のつごうで東京に引っ越した恵ちゃんは、
この夏、3年ぶりに
十勝に帰ってきました。



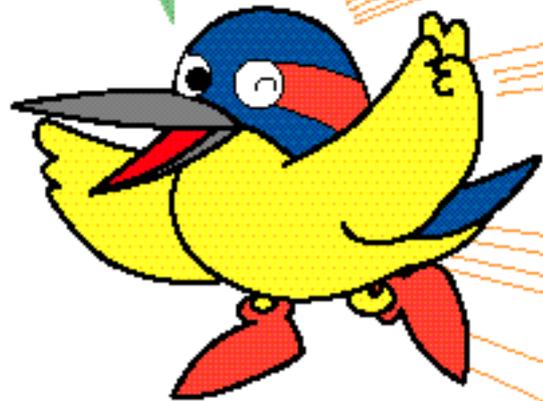
2

こんにちは！ カワッピーとスイッピーです！

わたしは
スイッピー！
よろしくね！

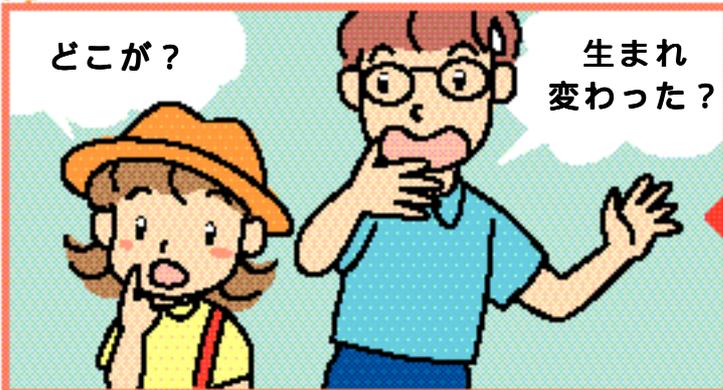


こんにちは！
ボクはカワッ
ピー！



どこが？

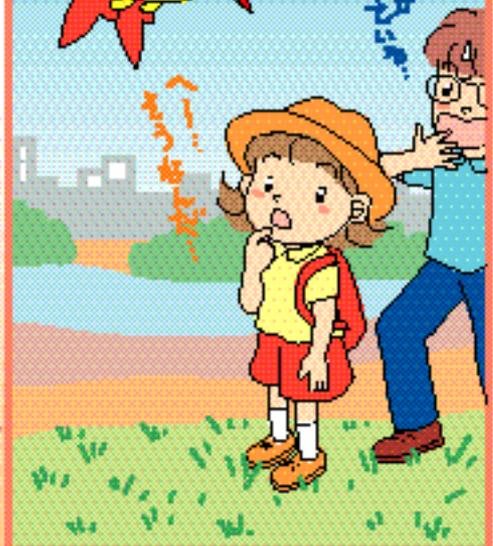
生まれ
変わった？



十勝川は、みんながもっと
安心して暮らせるように
生まれ変わったのさ！！



じゃあ、わかりやすく
昔の十勝川と今の十勝川を
上からみてみよう！



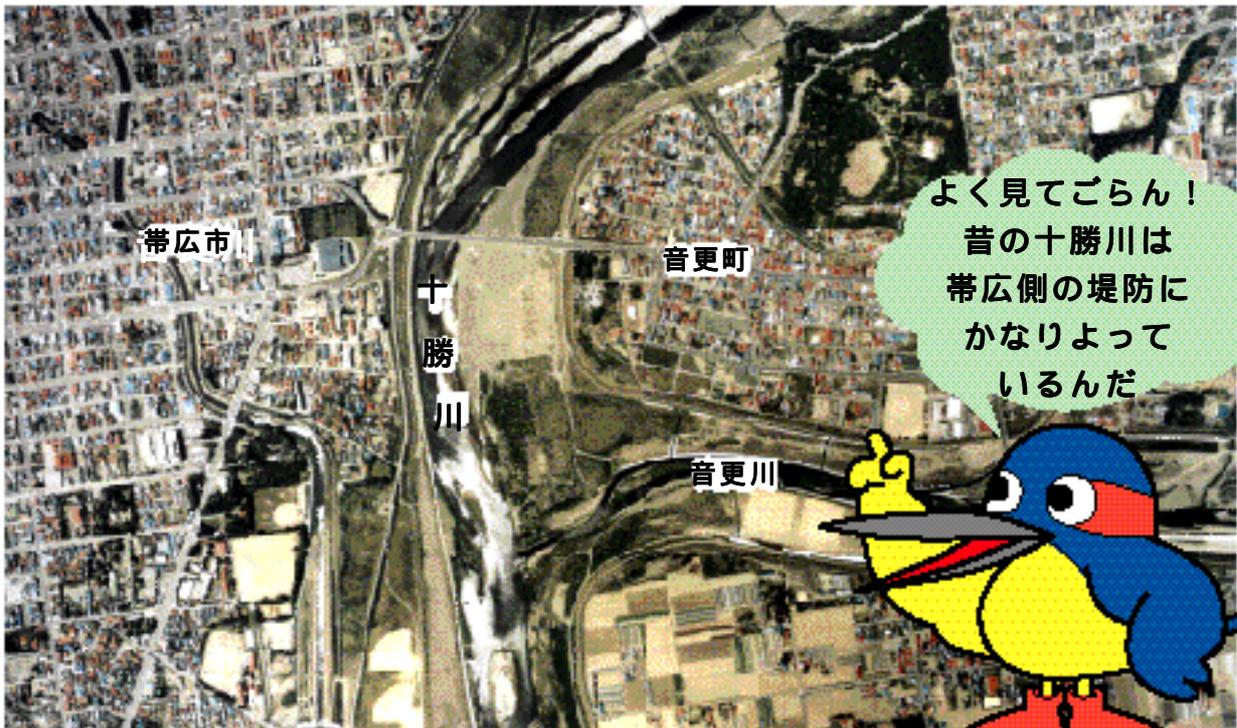
3

くらべてみよう！ 昔と今の十勝川

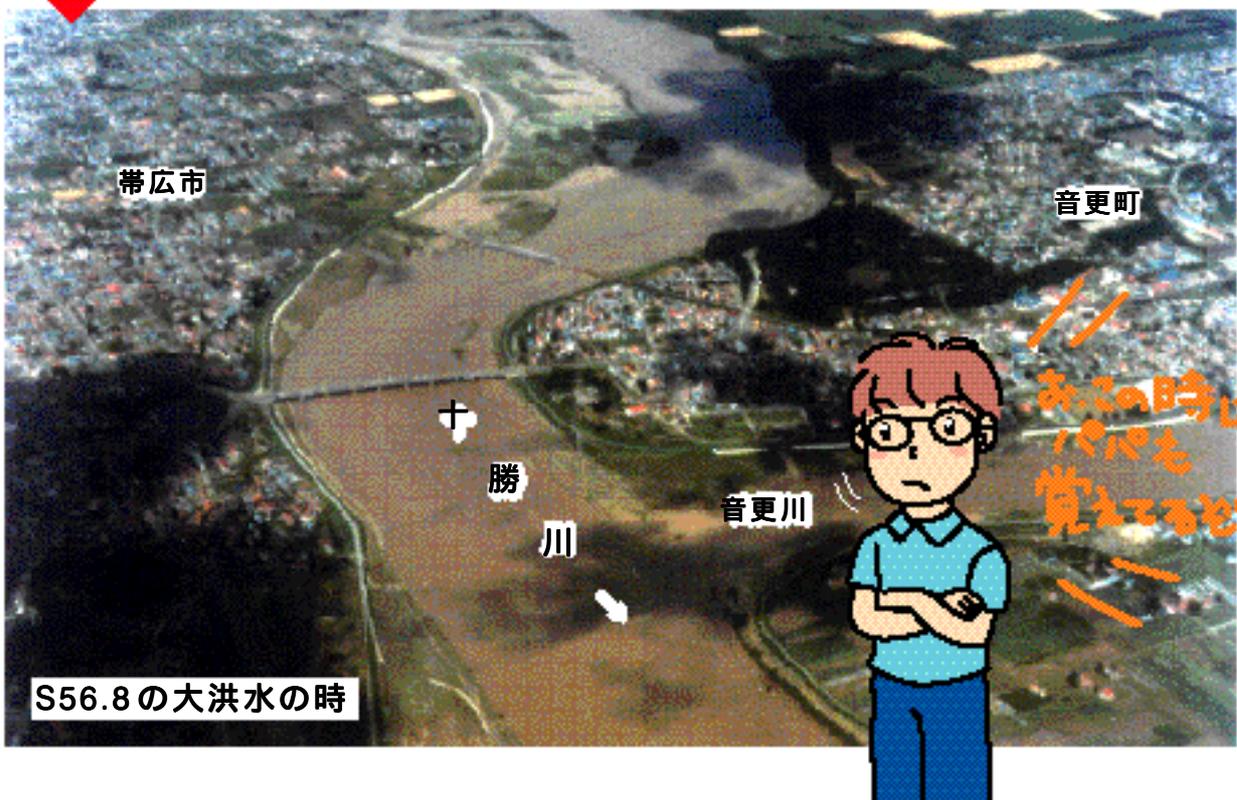


4

恵ちゃんのギモン なぜ川の形を変えたの？



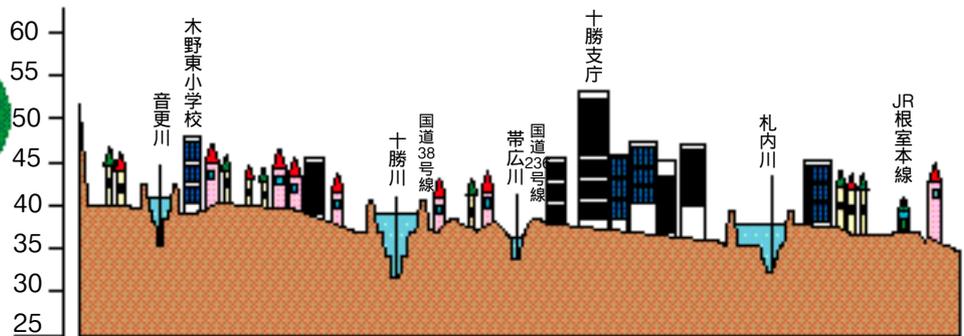
この状態だと、大雨が降ったとき...





大惨事をまねきかねない 十勝川の今までの問題点

十勝川
代表断面図
/ 帯広近郊

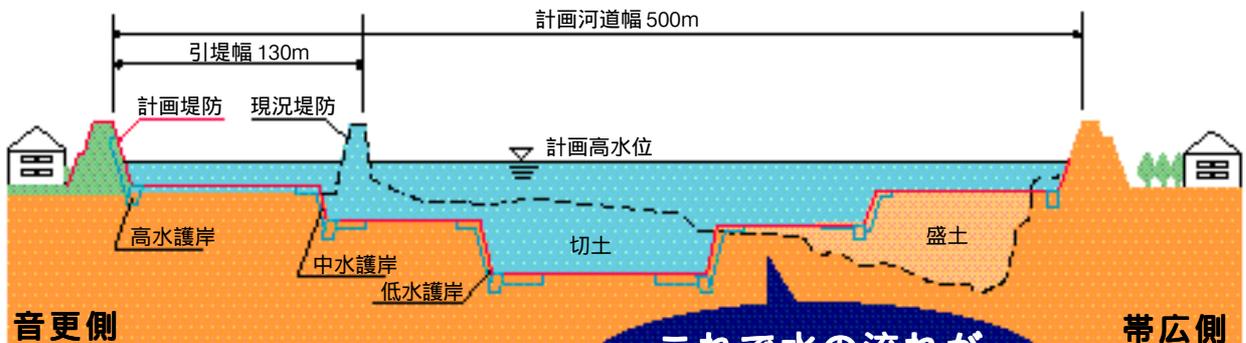


十勝大橋の周辺は、川幅が上下流に比較してとてもせまく、また大きくまがっているため、今まで洪水があった時にはとても危険だったんだよ。



計画高水流量とは、堤防を計画したときに最大に流せる水の量です。

そこで、十勝大橋付近の川幅を最大130m広げ、流れを中央に寄せて、たくさんの水が流せるようにしたんだ！



計画高水位とは、予定した川の広さに想定される最大の水の量を流した時の水面の高さです。



こんなことがあったんだ！ あばれ川・十勝川の歴史

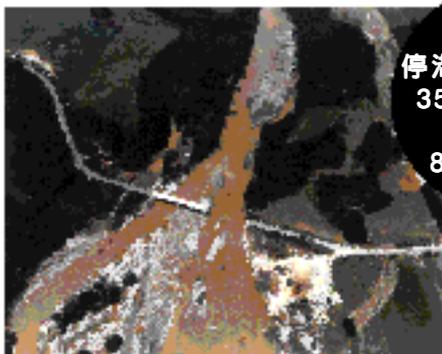


低気圧本道縦断
台風2号くずれ
昭和39年
6月3～5日

各地で記録的な雨量となったが、特に十勝川の茂岩より下流右岸側の被害が多かった。さらにこの年の8月25～27日には台風14号による被害が再度十勝を襲った。



浸水した豊頃町の旅来付近

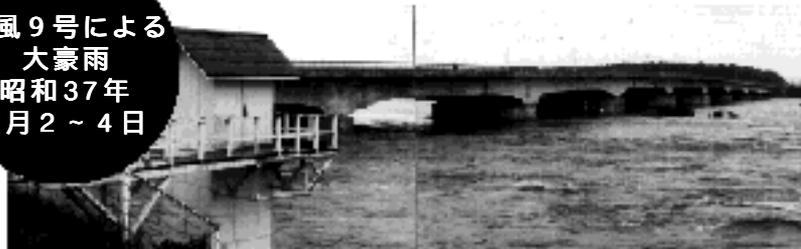


然別川の西瓜幕橋

停滞前線に伴って
350mmの雨量
昭和56年
8月3～6日

十勝川下流部
支川の内水氾濫
昭和63年
11月24～25日

台風9号による
大豪雨
昭和37年
8月2～4日



桁下近くまで増水した旧十勝大橋

低気圧による豪雨で帯広は142.1mm、上札内は244.9mmの降雨量で死者1名、浸水家屋664戸、橋梁損壊54箇所、田畑浸水526haにおよんだ。

収穫の秋を
押し流す
昭和32年
9月17～19日



濁流にのまれた大津市街



昭和37年8月4日、台風9号による大豪雨で帯広131.5mm、新内216.2mm、上札内189mmの雨量を記録、また茂岩で5,380m³/sの流量を示し、中下流部に大災害をもたらした。音更町木野では頼みとする堤防が決壊、せきを切ったように押し寄せる濁流が畑を洗い民家の軒先まで達した。逃げおくれで屋根にはい上がり助けを求める人たちを帯広署はボートで救助にあたった。



ここをこうしました！ 十勝川の工事・パート1

～大切な川を守るため、昔はこんな護岸工事が行われていました～



蛇籠(じゃかご)護岸

護岸といえば蛇籠護岸のことを意味するほど、戦前戦後を通じ全盛をきわめたものでした。その理由は経済的だったこと。また、初期の護岸工事はその大部分が災害復旧工事というものでした。こうした蛇籠護岸も改修の進歩にともなって連節ブロック護岸にその座をゆずり、昭和40年代には姿を消していきました。



手編み蛇籠の製作



蛇籠詰石作業

連節ブロック護岸

改修工事の進歩にともなって耐久性と大量生産が可能な連節ブロックが登場しました。連節ブロックの初期には現場製作が多かったのですが、昭和30年代後半には各社がそれぞれ各地に工場を建設し、工場製作期を迎えました。



下敷網粗朶



ブロック布設

音更地区引堤事業工事工程

- 昭和60年 地元説明・用地取得開始
- 昭和63年 木野地区用地5.4ha 72戸移転完了
- 昭和63年 工事着工(木野築堤、河道掘削護岸工事に着手)
- 10月14日
- 平成3年9月 十勝大橋架換工事着手
- 平成3年 下土幌築堤用地3.9ha 3戸移転完了
- 平成4年 下土幌築堤工事着工
- 平成8年1月 十勝大橋完成
- 平成8年8月 新低水路に切替、同時に右岸低水路掘削護岸工事開始
- 平成8年10月 旧木野築堤撤去
- 平成9年3月 旧十勝大橋撤去完了
- 平成10年3月 右岸中水敷護岸完了

十勝川改修の流れ

- 明治29年 旧河川法が制定される
北海道では開拓を進めるための基本的支柱として治水工事から進められました。
- 大正11年 十勝川で大洪水発生
- 大正12年 十勝川の本格的な改修がはじまる
市街地の堤防や下流沖積地の開拓を可能にするために統内地区捷水路工事に着手。
- 昭和37年 十勝川で大洪水発生
- 昭和40年 新河川法が制定される
十勝川水系、1級水系に指定
- 昭和41年 十勝川水系工事実施基本計画が制定
これに基づき下流部の浚渫・掘削や帯広市街地周辺の堤防や河岸の保護が引き続き進められました。近年流域は発展し、人口資産が増大しました。
- 昭和55年 工事実施基本計画を見直す
- 昭和56年 十勝川で大洪水
- 昭和59年 十勝ダム完成
- 昭和60年 音更地区引堤事業着手
- 平成9年 河川法改正
治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備
河川環境の整備と保全
地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入
- 平成10年 札内川ダム完成(3月)



ここをこうしました！ 十勝川の工事・パート2

河畔林の保全

地元住民の意見を尊重し、帯広側の河畔にある林を残しました。



工事中



現在

ヤシガラマットによる 植生護岸

環境に配慮して、自然の素材を使用しました。



水槽の移植



現在



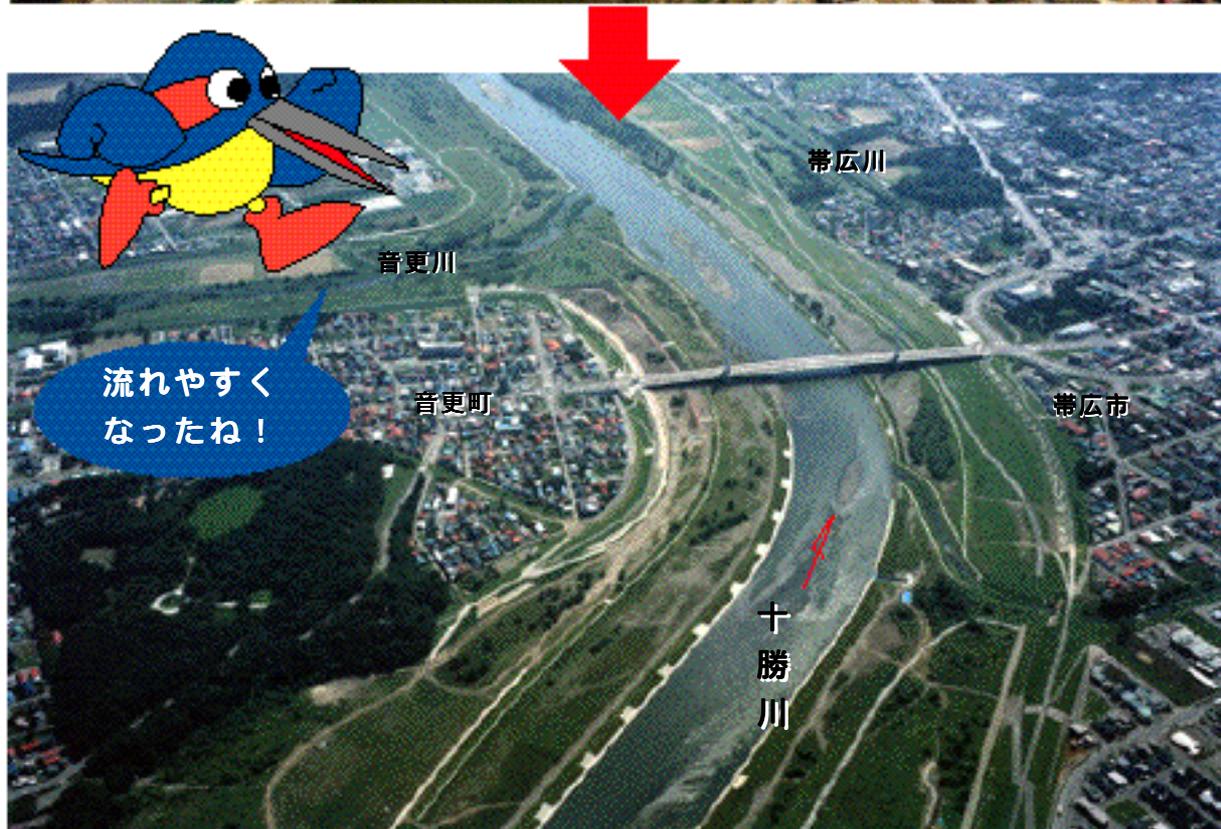
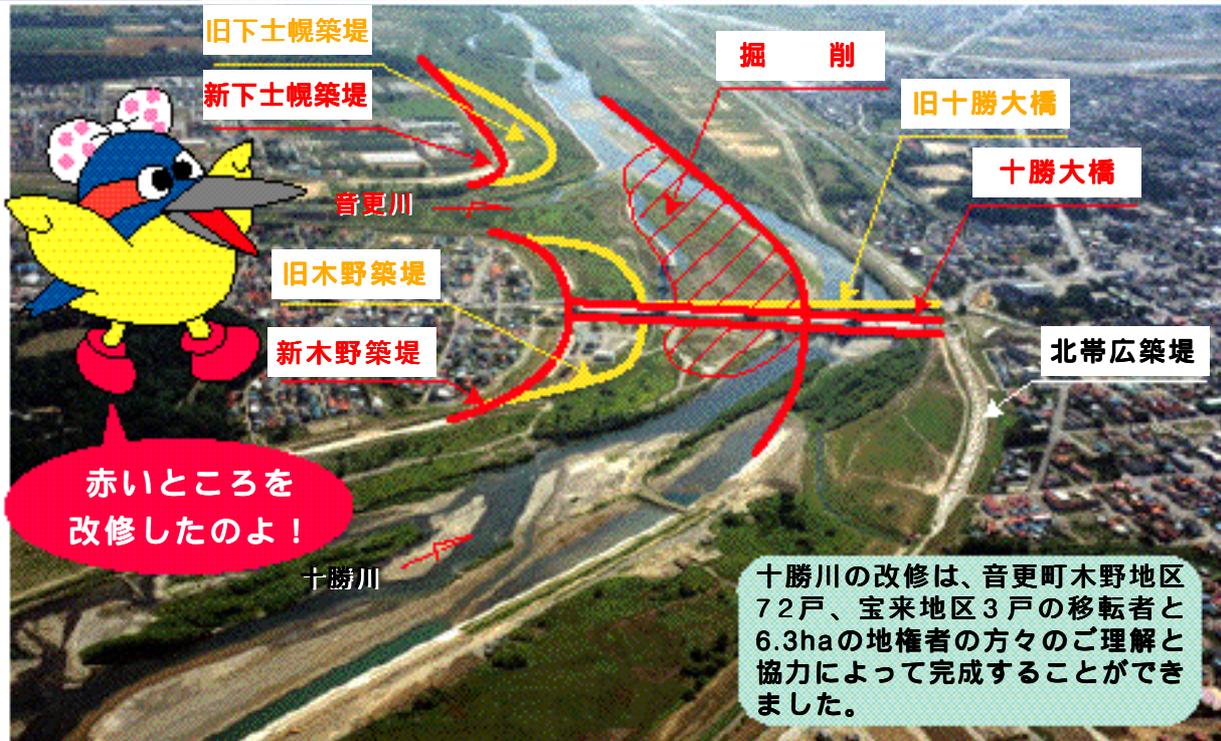
移植状況



移植直後



より安全になりました！ 生まれ変わった十勝川



10

川の周りも こんなに変わったよ！



十勝大橋の上から見た十勝川。河川空間がグンと広くなって、緑がいっぱいです。

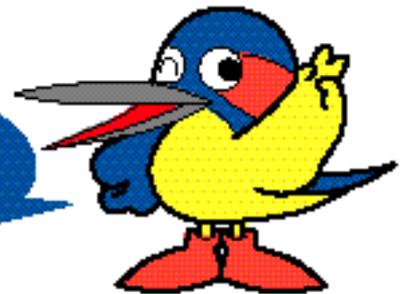


帯広側の河岸は、見違えるほど広くなりました。



地域の方の意見を参考に、河畔林も残しています。

たくさんの人たちが
利用しているよ！



堤防横のパークゴルフ場は帯広市民の憩いの場です。

11

写真で見てもみよう

私たちの宝物・十勝川 パート1



十勝の夏を美しく彩る、十勝川花火大会



広い河川敷で、花火もグンとワイドになりました。



手作りのイカダが勢揃い！十勝川いかだ下り

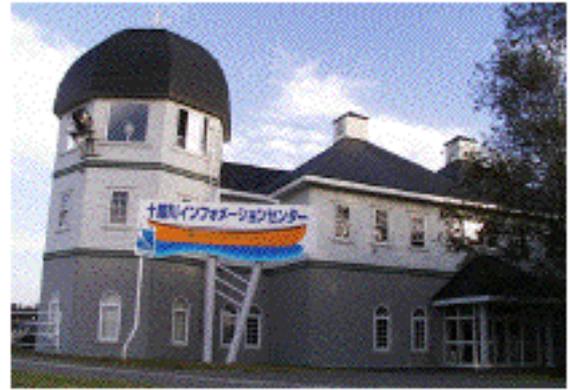
12

写真で見よう

私たちの宝物・十勝川 パート2



白鳥護岸



インフォメーションセンター



十勝川資料館

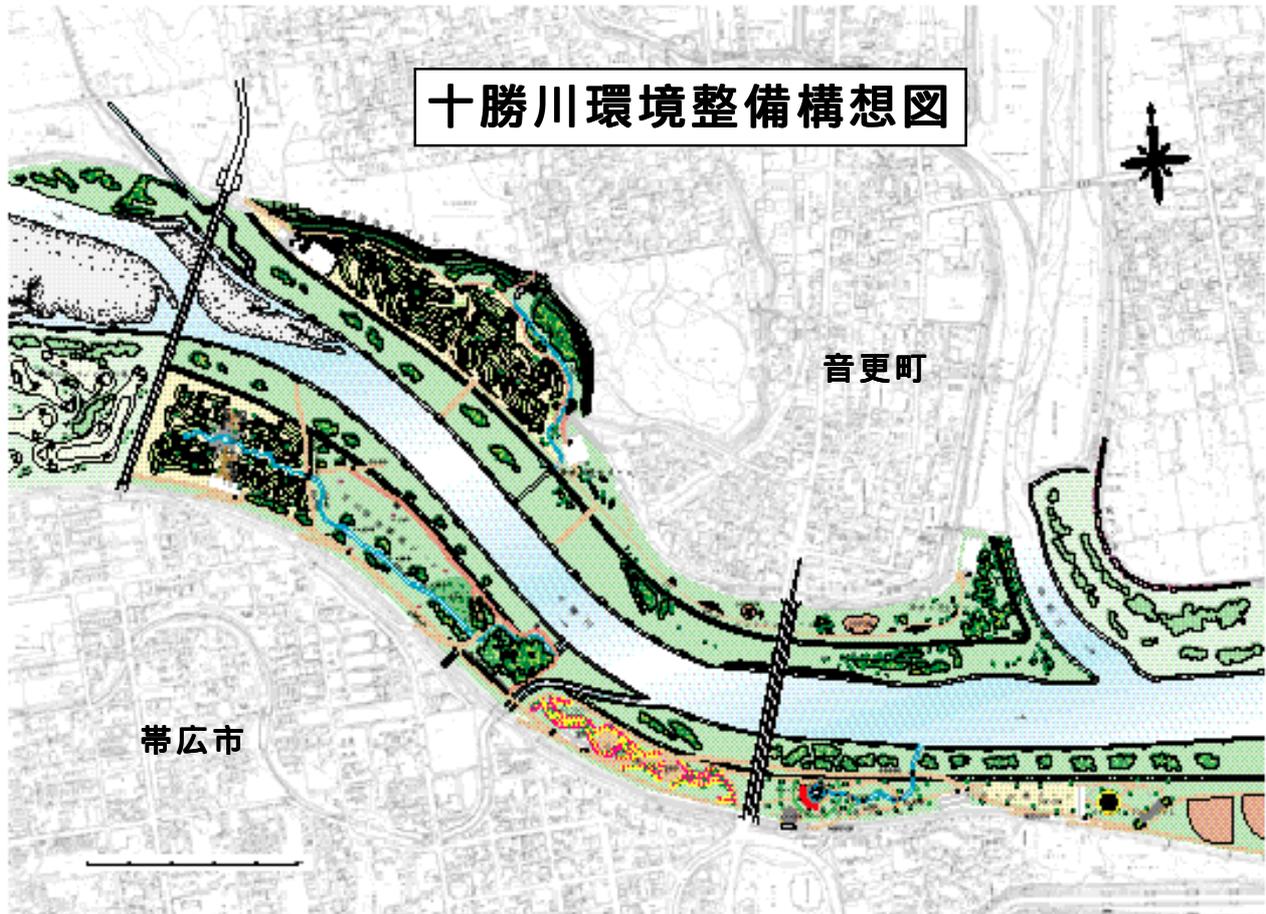


千代田堰堤



親水公園

そしてさらに... こんな川をめざしています

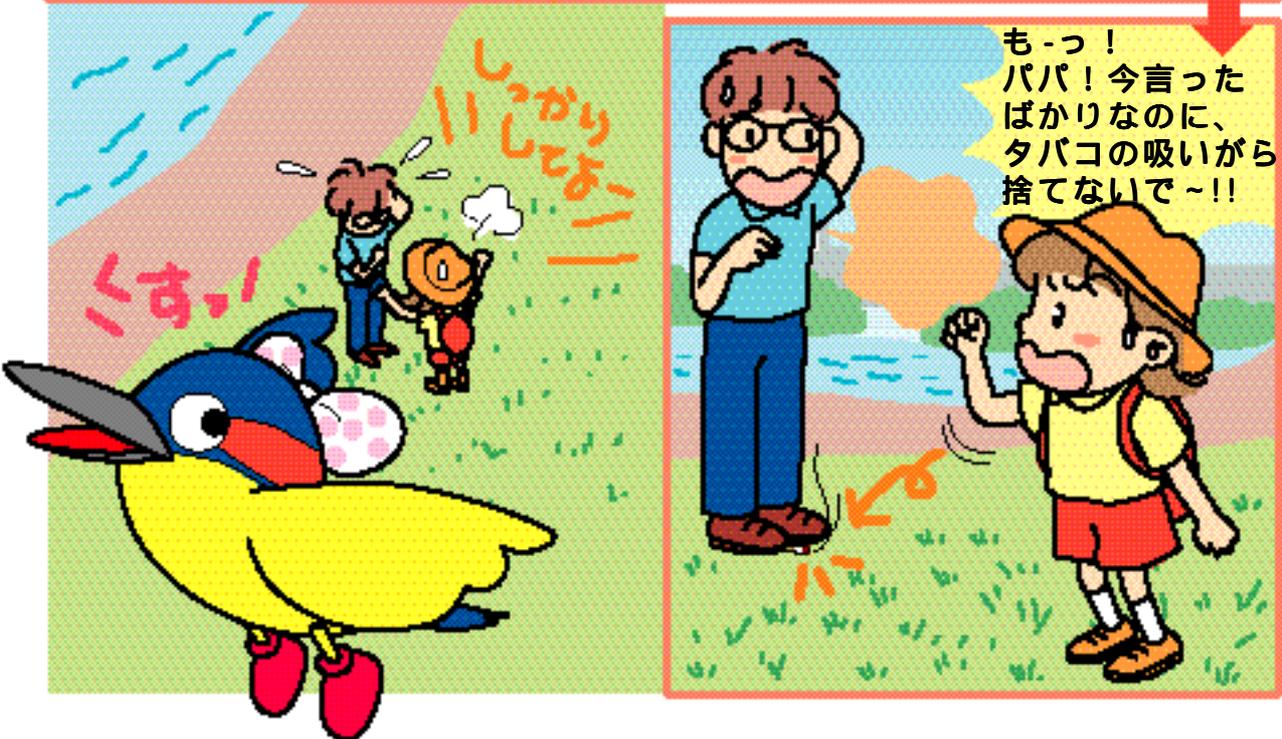


潤いと安らぎある 市民の憩いの広場づくり

引堤事業で生まれた約56haの広大なオープンスペースは、十勝川の雄大な流れを背景に水と緑にあふれ、多くの人々が川に親しむ絶好の広場として生まれ変わります。市民の憩いの広場として一日も早い完成が待ち望まれています。

～エピローグ～

大切にしよう、未来の十勝川



15

～ エピローグ～

大切にしよう、未来の十勝川



こうやってひとりひとりが
川について理解して、
大事にしてくれると
うれしいね、スイッピー！

そうね、そのためには
私たちももっと
努力しなくちゃね、
カワッピー！



みなさんも
くれぐれも
**川をきれいに
大切にね!!**

おしまい